

静岡市清水区感染症発生動向

2018年 29週

集計期間 7/16-22

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症														
咽頭結膜熱				1										1
溶連菌感染症									1	1				2
感染性胃腸炎		2	7	6	8	12	3	13	7	5	5	6	1	75
水痘											1			1
手足口病			5	3	3	1	1							13
伝染性紅斑							1							1
突発性発疹			1											1
百日咳														
ヘルパンギーナ	1	1	12	5	16	8	3	3	4	1		1		55
流行性耳下腺炎														
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ														
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu														
小児科定点総数 149 増減 -20 前週比 88.2% 定点当たり 24.8 病院:開業医 6:143 増減 -2:-18														
内科Flu														
インフルエンザ総数 増減 0 前週比 ? % 定点当たり 小児科:内科 0:0 増減 0:0														

総数149、前週の88.2%と、減少です。

首位は、感染性胃腸炎で、前週比81.5%、定点当たり12.5と減少です。

2位は、ヘルパンギーナ、前週比114%、定点当たり9.2と、増加ですが頭打ちです。

3位は、手足口病、前週比118%、定点当たり2.2と、やや増加です。

以下は、定点当たり1未満ですが、溶連菌感染症が、久々に2名と少なく、

咽頭結膜熱、水痘、伝染性紅斑、突発性発疹が、1名ずつ報告です。

7/22、小児科休日当番は、来院数111名、胃腸炎19名、ヘルパンギーナ11名、
とご報告をいただいています。

総数、ヘルパンギーナ、当番医の来院数が頭打ちになり、
集団生活も夏休みに入る所も多くなりますので、
感染症、夏の陣は、ピークは越えたと考えて良さそうです。